

ひろば

お便り

POST

◇ 読者から ◇

誌面でお名前を存じ上げた方に授業などを通してお目にかかれると、「私の先生を知ってるわ」と、とてもうれしくなります。逆もまたしかりで、お目にかかった方やお話の中に出た方のお名前を誌面でお見受けするのも楽しみです。

実際の人とつながると、「幼児の教育」が、よりいっそう身近に生き生きと感じられるから不思議です。

(ECELL 社会人プログラム受講者)



● 編集室だより ●

11月29日、茨城県大洗町の幕末と明治の博物館で開催された「日本人初の幼稚園保姆 豊田英雄」展を見てきました。136年前に英雄が日本最初の保姆として東京女子師範学校附属幼稚園に赴任したちょうどその日で、数奇な運命を強靱な意志で生き抜いた女性を一層間近に感じられたような気がします。

地元新聞のインタビューで晩年「私はなにも成し遂げなかった」と謙虚に語っていたことを知り、「最初の保姆」であった事実は生涯教育者として生きた英雄にとって一つのプロセスだったこと、想像し難いほどの人生の重厚さに、圧倒される思いでした。(J)

本の紹介 『さくらの気持ちパンダの苦惱』
唐亜明 岩波書店 2010年

軽妙にして痛快な、気持ちが重くならず読める日中比較エッセイ。中国で生まれ育ち、長く日本に暮らしている著者は、現在日本の出版社の編集者であり、数多くの優れた日本の絵本を中国語に翻訳もし、また、何冊もの日本語の著書も出されている。著者ご本人はそうとはあえて言わないが、相当の「逆境」を生きてきた方である。語学番組テキストに好評連載されていたエッセイをもとにまとめられた本著は、はっとさせられたり、うなずかされたりすることの多い、なかなか出会えないバランスの良い一冊だと思う。

中国(人)と日本(人)とでは、仕事の仕方、同じ言葉に対するイメージ、自国に対する意識や態度、何もかもが異なる。国と国との対立や摩擦ばかりが目につく今という時代であるが、人と人とは異なりつつ人として出会えるのだと、改めて思う。(K)

日本保育学会第66回大会が福岡市中村学園大学・中村学園大学短期大学部を会場に開催されます

日本保育学会第66回大会 概要

会期：2013年5月11日(土)・12日(日)

会場：中村学園大学・中村学園大学短期大学部
(福岡市城南区別府5-7-1)

大会テーマ：「未来を育む」

特別講演講師：土井高德氏

(土井ファミリーホーム代表)

内容：大会講演・特別講演・社員総会・授与式・
研究発表・シンポジウム

詳しくは大会HP参照

<http://jsrec.or.jp/hoiku66/index.html>